

令和2年 造園業死亡災害の事例

各都道府県労働局発表データより作成

	都道府県	事故の型	起因物	災害の状況
1	岩手	激突され	立木等	立木を伐倒したところ、伐倒木の枝が被災者の後頭部を直撃した。
2	岩手	転倒	地山、岩石	山林での下草刈り作業中、現場で倒れている被災者を一緒に作業していた事業主が発見。伐倒した木の皮はぎ作業中に斜面で転倒して、切り株に頭部をぶつけたものと思われる。
3	福島	墜落・転落	はしご等	三脚脚立に上がって民家の庭木の剪定をしていたところ、三脚脚立の脚部が滑って開脚し、バランスを崩して約2m下の舗装道路に墜落した。
4	栃木	はさまれ・巻き込まれ	移動式クレーン	被災者他1名で車両積載型トラッククレーンを操作して、木の枝の束を荷下ろししていたところ、吊り荷が強風にあおられてクレーンが転倒し、被災者が車両と地面の間にはさまれた。
5	群馬	転倒	地山、岩石	道路の除草作業後、傾斜39度の法面を駆け上がろうとしたところ、転倒して側溝に転落した。
6	千葉	激突され	立木等	チェーンソーでかかり木がかかっていた木を伐倒した際、倒れてきたかかり木が被災者に激突した。
7	神奈川	その他の環境	—	線路脇の法面の除草作業中に、茂みから出てきたオオスズメバチらしき蜂に腕を刺され、アナフィラキシーショックを発症した。
8	神奈川	墜落・転落	立木等	胸高直径30cmの枝に乗って手ノコで剪定していたところ、乗っていた枝、墜落制止用器具を取り付けていた枝、握っていた枝3本ともが折れて、4m墜落した。
9	東京	墜落・転落	立木等	立木の剪定のため、枝に立って作業していたところ、枝が折れて落下した。
10	愛知	墜落・転落	はしご等	剪定中の枝が当たり、脚立(高さ1.5m)から落下し、地面に頭部を打った。
11	三重	転倒	建設用機械	車両建設用機械を用いて、植木を吊り下げて走行していたところ、横転して運転席から投げ出された。
12	京都	切れ・こすれ	チェーンソー	ケヤキの枯損木の枝打ち作業中に、チェーンソーが腹部にふれて切傷した。
13	大阪	交通事故	トラック	高速道路の植栽作業のため、路肩に車を停めて降車し、徒歩で移動していたところ、トラックが走行車線側の法面に乗り上げた状態で向かってきて轢かれた。
14	島根	激突され	立木等	斜面において、かかり木を倒すため、当該木をハンマーで叩いたところ、当該木が谷側に倒れた際に、他の立木の枝等に衝突したことで当該木の上部が折れ、被災者の後頭部に直撃した。
15	岡山	墜落・転落	足場	幅1.8m、高さ3.6mの足場を組み立てて、第2層目(地面から高さ約2.3m)の作業床上で作業を行っているとき、バランスを崩して作業床から約4.5m下の用水路へ墜落したと推定される。
16	佐賀	墜落・転落	はしご等	用水路に隣接する植木の剪定中、用水路内に倒れている被災者が発見された。被災者のそばには脚立が立てかけられていた。
17	大分	墜落・転落	立木等	高さ4.3mの樹木の上で剪定していたところ、地面に墜落した。
18	鹿児島	飛来・落下	立木等	倒木をチェーンソーで木の先端から約2mずつに玉切りを行い、最後の玉切りの際に根株部分の土の塊の重みで幹部分が地面から浮き上がり、不安定な状態になったため、根株部分をグラブで押さえて、幹部分が地面から33度に傾いた状態で根株近くを玉切りしたが、切り口が離れないため、切り口を確認しようと被災者が倒木の下方に入ったと同時に、切り口部分で折れ倒れてきた幹(長さ2.3m)の下敷きになり被災した。
19	鹿児島	激突され	立木等	伐倒木(高さ約8m、胸高直径60.8cmの枝払い前の雑木)を、掘削用バケットを装着したドラグショベルで移動して仮置きしたところ、木が斜面を2m程度滑り落ち、下方にいた被災者に激突した。